

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

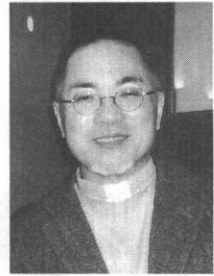
発行代表者 岩切 旻世

編集者 財津 悠子

印刷所 ヤマダスピード製版

主題聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」ローマの信徒への手紙 12章15節



出会いの中で変えられるわたし

宮崎教会 牧師

秋山 仁

私たちは、自分と異なった経験をした人に対して敬意を持つことができるでしょうか。

人は得てして自分のこれまでの経験に基づいて物事を判断しがちです。しかし、実は、そうした自分の物の捉え方が、狭かったりすることには、気づかないものです。自分と異なった経験をした人との出会いは、そうした「わたしの枠の狭さ」に気づかせてくれる機会であるし、私をより広い世界へと導いてくれる出来事でもあります。出会いの中で、人は自分が変えられて行く体験をするのです。

教会は、本来異なった経験をした人同士が出会う場所です。お互いに自分の持っている物の捉え方の枠の狭さに気づき、変えられて行く場であるはずで、その出会

いと気づきに対して謙虚であるとき、教会が、豊かさに溢れた関係を紡ぐ場であることを見出すことができます。そうした豊かさを備えた出会いは、新しい人との出会いに限らない。いつも顔を合わせているなじみの人との間にも、それはやはり起こり得ることなのだと思えます。「この人はこう」と、決めつけるのではなく、相手が常に変わり得る存在であることを意識するなら、新鮮な発見があるでしょう。そのことによって、自分もまた変えられていく存在であることを見出すでしょう。

福音書に、カナンの女性がイエス様を訪ねて来る物語が出てきます。その女性は、イエス様にこどもの癒しを求めますが、イエス様は「こどものパンを取り上げて、小犬

に与えてはいけぬ」と断ります。なぜなら、イエス様は、自分を「イスラエルの失われた羊のところにしか遣わされていない」と理解するからです。

しかし、そう言ったイエス様に向かつて、「小犬でも落ちたパンくずは、いただきます」と応じたカナンの女性。それは、必死に、しかし機知に富んで、イエス様の物の捉え方の枠の狭さを指摘する女性の姿です。そして、その女性の受け答えの中に、自分自身の物の見方の枠の狭さを感じるとイエス様がいます。「それほどいうのなら、よろしい」と態度を鮮やかに変えられるイエス様がいます(マタイ一五章二一〜二八節)。イエス様が、その女性に伝えて自分の物の見方の枠に気づき、変えられていく物語は、興味深い話です。

出会いの中で自分が変えられていくことに、大胆でありたいと思うのです。そのようにお互いに働きかけ合う関係の場としての教会でありたいものです。





これまでのあゆみ

主よ、老いた私をなおも
負いつけて下さい

水俣教会 池嶋 春恵

今日迄ルーテル教会婦人会の歩みは本当に素晴らしいものがあったと思われます。思い返すと長い長い道のりです。献身と努力によつて積み上げられて来た、その時その時の役員の方々に心から感謝申し上げます。私も婦人会の働きに及ばずながら参加させてもらい、いろんな事を学びました。女性会を通してみ言葉に学び、活動に加わり成長する事が出来て良かったと思つて

会等を思えばそこに主が道を開いて下さり主の栄光を現す良い働きだったと思ひます。

います。あの東北を襲つた大震災の折りの雑巾作りとか各教会の問題解決の為の祈り会とか、主の祈りについての学びの修養

近頃私も老を感じるようになって来ましたが、会長会も欠席届ばかりで申し訳なく思つています。当教会も会員減少、残り少ないものだけで例会を続けています。教会を支える為の一人一役精一杯やつてゐるつもりでも、若い世代への

す。先日は一人暮らしで介護を受けて生活されている姉宅を訪ねました。お互いの信仰の交わりを深める良い機会となり、讚美歌と聖書を読み、楽しい交わりが出来て互いに喜び合いました。今後の女性会の在り方もそのような方と共に会つて過ごす時を持つ働き方もいいのではな

りません。その現状の中、時代の流れと、ものの価値観も日々変化しておりやむを得ない現実と思われます。老いた会員も主日礼拝出席が出来なくつつありま

「わたしはあなた達の為に立てた計画をよく心に留めて、と主は言われる。」(エレミヤ書二十九章十一節)と約束なさつて

います。我々の為にいつもとりなして下さる復活の主の命に生かされてゐる事をいつも喜び感謝し、主の導きに信頼しつつまいりましよう。

りましよう。

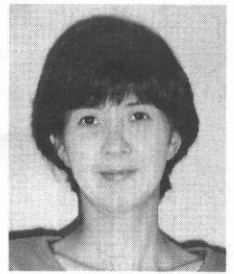
りましよう。

りましよう。

りましよう。

りましよう。

りましよう。



これからのあゆみ

関わっていききたい

二日市教会 木原 陽子

子ども三人子育て真っ最中です。その為いろいろと用事が入り、日曜日はなかなか教会に通えず、女性会への参加もままなりません。教会の方々は、そのような私達をいつも温かく迎えて下さいます。子ども達も居心地がとっても良いようで、教会へ行く事を楽しみをしています。女性会では、気負わず無理せずといった感じでお話をしたり讃美歌を歌ったりします。そんな交わりの中で、集う方々の思いを知る事が出来ます。



人と関わり合う事は大切な事です。人の中に飛び込んでいくのは、めんどうだと思ったり、勇気も要ります。でも、関わらなければ、関係づくりは出来ません。思いを分かち合ったり、寄り添ったりしながら、もつと身近な存在で、お互いの心に響き合う女性会であれば、と思います。その為にも、私自身もつと関わっていききたいです。

九州教区青年会報告

こんにちは青年会です

青年会代表 因 てい子

(箱崎教会)

いつも青年会活動にご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年も1、2ヶ月に1回のペースで活動を予定しております。4月26日に箱崎教会にて聖研、新しいメンバーの歓迎バーベキューを行いました。熊本からも3名、新青年2名を含め、箱崎の子供たちも参加してくれて、計30名近くが集まり、にぎやかで恵まれた会となりました。次回は6月に熊本で聖研とポーリング大会を企画しています。また今年も恒例の素麺販売も行いますので、ぜひお買い求めください。今後教会訪問をはじめ、楽しい活動を計画していききたいと思っておりますので、お近くに青年がいましたら、参加を勧

めてくだされば幸いです。詳細は各教会に掲示していただいている活動案内ポスターをご覧ください。

尚、2013年度に教区女性会の会からいただきました青年会への支援金につきまして、この場をお借りして感謝を申し上げますとともに、報告させていただきます。

教区女性会支援金
50,000円

全国青年修養会参加費補助
(9,000円×2名分)
18,000円

県外参加者交通費補助
32,000円



バーベキューを楽しむ青年たち